

849 中央大学記事（中央大学図書館報告・維持基金払込額及

び氏名）

〔『法学新報』第35巻4（399）号 大正14年4月10日〕

○中央大学記事

○中央大学図書館報告 本年二月以降購入並寄贈を受けたるもの左の如し

購入和書

書名

著者

リツケルト歴史哲学

米田庄太郎

民法原理

遊佐 慶夫

錯誤論

岡田 庄作

カントノ目的論

田邊 元

破産法講義

加藤 正治

現代に於ける理想主義の哲学

西田幾太郎

人類学及人種学上より見たる北東亜細亜

鳥井 龍藏

日本囲周民族の原始宗教

同

社会事業年鑑

大原社会問題研究所

破産法講義

加藤 正治

文化人類学

西村眞次郎

新商法積義

青木 徹二

取引所要論

長満 欽司

社会統計論綱

財部 静治

土地経済論

河田 嗣郎

新体六法全書

巖 松 堂

債権各論講義

大谷 美隆

武蔵野及其周囲

鳥井 龍藏

岐阜県に於ける小作問題研究

中澤弁次郎

農民離村の研究

有島 頼寧

農業経済原論

佐藤 昌介

大蔵省預金部論

山田幸太郎

判例大系

弘 文 堂

刑事訴訟法原論 上巻

岡田 庄作

同 下巻

同

経済研究 第二巻

岩波 書店

自然科学と宗教

佐藤 定吉

商法総論概要

田中耕太郎

標準日本文法

松下大三郎

国際法及国際問題

恒藤 恭

カント雑考

桑木 巖翼

社会問題概論

安部 磯雄

社会問題の研究

山田準次郎

回教民族の活動と亜細亜の将来

渡邊己之次郎

行政法

佐々野章邦

民法概説

三淵 忠彦

近世哲学史 上巻

北 玲吉

同 下巻

同

経済史概論	北澤新次郎	実用刑事訴訟法	黒瀬 善次
財政学	阿部 賢一	荷為替信用状論	伊藤 和雄
ウイリアムモリス	加田 哲二	倉庫証券に関する学説及判例	志田鉀太郎
日本商法	松本蒸「悉」治	政治学史講義	戸澤 鐵彦
法学論集	横田 秀雄	訴と其裁判 中卷	尾高 武治
行政法要論	島村他三郎	猶太民族の世界的活動	渡邊己之次郎
哲学大集成	村田 豊秋	セルゼン国家概念研究	堀 信琴
商学通論	武田 英一	商法総論	武田 省
社会学体系論	波多野 鼎	陪審法釈義	溝口 孝雄
国際法問題研究	泉 哲	アダムスミスの経済思想	谷口彌五郎
批判的法律哲学の研究	恒藤 恭	近世社会思想史	波多野 鼎
政治の社会的基礎	大山 郁夫	金融六十年史	東洋経済新報社
住宅問題と都市計画	關 一	晩近価値学説史	山下 芳一
スタンダード和英辞典	竹原 常太	経済学の基調としての全理主義	同
日本新聞発達史	小野 秀雄	ミル自叙伝	今泉浦次郎
図書学概論	田中 敬	貿易の見方	新關 莊藏
民事法規集	末弘巖太郎	東洋経済新報臨時号	東洋経済新報社
哲学概論	兒玉 達童	寄贈和書	
上院と政治	近衛 文麿	書名	寄贈者
古墳と上古文化	高橋 健自	近世工業簿記(二卷)	橋本 良平
工業経済論	戸田 海市	第五十五期営業報告	日本勧業銀行
日本経済的危険	堀江 歸一	英法綱要	久保 久
自治制要論	星野 武雄	政治学史講義	戸澤 鐵彦
労働法総論	孫田 秀春	応用統計学	竹田 武男

大正十二年朝鮮総督府統計年報	朝鮮総督府	三田学会雑誌	十九	三	一
大正十二年台湾第十九統計摘要	台湾総督府	會計	十六	二	一
政治学説史	小寺 謙吉	日本勸業銀行報告		五十五期	一
大正十一年工場監督年報	社 会 局	保険評論	十八	二	一
震災直後の市勢統計	市 役 所	太 陽	三一	三	一
大正十四年理科年表	東京天文台	国際労働	二	二	一
蘭領東印度事情	外 務 省	滿 蒙		三	一
露国工業法概要 上卷	南満州鉄道株式会社	国際智識	五	三	一
同 下卷	同	国際法外交雑誌	二四	二	一
新カント派の社会主義観	左右田喜一郎	社会思想	四	三	一
親族相続先例類纂	巖松堂書店	調査時報	五	二	一
玄耳庵支那叢書 女、家、国、	紀志 嘉實	警察協会雑誌		二九四	一
雑誌二月二十一日ヨリ三月二十日迄本館ニ到着備付ノ分		調査資料	六	二	一
誌 名	卷	日本及日本人		六八	一
大審院判例集	三	国民法律	十六	三	一
分類式判例集報	一 自十六号至十七号	博 愛		四五三	一
判例彙報	三六 自三号至四号	国際事情	自一七一号至一七二号		二
経済論叢	二〇	朝鮮司法協会雑誌	四	二	一
財政経済時報	十二	実業ノ日本	二八	自五号至六号	二
判例大系	一	社会事業	八	十一	一
法曹会雑誌	三	国 論	十一	三	一
法学志林	二七	発 明	二二	三	一
文部時報	自一六三号至一六四号	受験界	六	三	一
文部時報目録	自一四一号至一五八号	民衆ノ法律	二	二	一

統計学雑誌	四六四	一	法律新聞	自三〇号至三二号	二
内外情報	自一三二号至一三三三号	三	○維持基金ノ払込アリタル額及氏名左ノ如シ		
中央公論	四〇	三	金六円(四十七、八回分)	池田 清秋君	
読書会雑誌	十二	三	金六円(自二十四至二十六回分)	石田 實君	
法華	十二	三	金七円(九十七、八回分)	稻澤庄次郎君	
北京週報	自一四九号至一五二号	四	金式拾円(百〇一、二回分)	稻田周之助君	
社会問題研究	六〇	一	金五円(五十一回分)	伊藤 浩藏君	
Romansesekai	十五	三	金参円(自四十三至五十五回分)	稻田 正雄君	
調査及資料彙報	四九	一	金参円(三十六回分)	伴 善光君	
外国雑誌重要記事索引	四七	三	金五円(五十四、五回分)	橋倉 次雄君	
法律評論	十三	十三	金五円(九十一回分)	林 頼三郎君	
日本弁護士協会録事	二九	三	金四円(二十二、三回分)	羽田 實君	
業務研究資料	十三	二	金拾五円(自八十一至九十五回分)	原田 繁藏君	
経済資料	十一	三	金四円(二十八、九回分)	新田 法教君	
奉公	二六六	一	金五円(百五十三回分)	西川 一男君	
考劄方	八	四	金五円(十四回分)	堀口 良雄君	
哲学雑誌	十四	四	金参円(自三十三至三十五回分)	徳永 平次君	
法学協会雑誌	四三	三	金拾五円(自十六至十八回分)	千葉 彦治君	
法学新報	三五	三	金四円四拾銭(自九十五至九十六回分)	千脇 尚徳君	
国民経済雑誌	三八	三	金拾円(十回分)	李 升 雨君	
新聞ノ分			金拾円(九十八、九回分)	大内省三郎君	
London Times	自二五〇八号至二五一一号	四	金四拾円(八十九、九十回分)	大岩 勇夫君	
日本警察新聞	六三三	一	金五円六拾銭(自六十五至六十六回分)	岡崎熊三郎君	
東亜法政新聞	一〇三	一	金拾五円(自五十六至五十八回分)	岡田榮太郎君	

金貳拾四円 (八十四、五回分)	岡田宇之助君	金四円 (七十、七十一回分)	松隈 昌隆君
金拾円 (十四回分)	和田 徹一君	金六円 (二十三回分)	松本 伊織君
金拾円 (九十三、四回分)	上内恒三郎君	金拾円 (二十五、六回分)	升本 重夫君
金四円 (四十三、四回分)	笠原 正史君	金貳拾五円 (五十四回分)	松元辰之助君
金五円六拾銭 (自五十五至五十六回分)	門屋 直哉君	金参円 (自五十至五十二回分)	杉野 清一君
金拾円 (七回分)	金子光太郎君	金拾貳円 (自八十五至百〇八回分)	福地 孫市君
金参円 (自十一至十三回分)	河和 金作君	金五円六拾銭 (自五十九至六十回分)	後藤傳兵衛君
金五円 (百〇四、五回分)	頼信藤四郎君	金五円六拾銭 (自三十八至三十九回分)	小林新太郎君
金四円 (五八、九回分)	吉田 久君	金参円 (九十一、二回分)	遠藤 源六君
金四円 (九十回分)	吉益 俊次君	金貳円 (九十二、三回分)	遠藤 武治君
金六円四拾銭 (自九十三至九十六回分)	高木 三郎君	金参円 (五十二回分)	秋元九十九君
金四円 (四十三、四回分)	竹井小野右衛門君	金五円 (九十五回分)	安達駿三郎君
金拾円 (十九、二十回分)	高木信成「威」君	金六円 (九十五、六回分)	赤井 定義君
金貳円 (九十八、九回分)	根津 千治君	金参円 (九十五、六回分)	安部文二郎君
金五円 (五十二、三回分)	根本仙三郎君	金五円五拾銭 (自五十八至五十九回分)	浅沼彦一郎君
金五円六拾銭 (自五十八至五十九回分)	長山 壽雄君	金五円 (七十一、二回分)	姉齒 松平君
金五円六拾銭 (自五十四至五十五回分)	中村 正臣君	金拾貳円 (七十三回分)	青山 衆司君
金参円 (九十一、二回分)	梅村 大君	金四円 (五十四回分)	荒井 操君
金四円 (六回分)	上田 貞藏君	金四円四拾銭 (自九十五至九十六回分)	木寺 亨重君
金五円 (百〇一、二回分)	白井龜太郎君	金壹円 (七十一回分)	木村競次郎君
金四円 (四十八、九回分)	柳田宗一郎君	金四円 (三十五、六回分)	金 志 建君
金拾円 (九十六、七回分)	山口 昇君	金参円 (自四十八至五十回分)	北村藤太郎君
金四円 (三十六、七回分)	山田 三郎君	金五円 (四十二、三回分)	水谷 團治君
	丸山 熊八君	金四円 (十二、三回分)	三谷錦太郎君

金五円六拾銭(百六十八回分)	三上 直吉君
金参円(六十八、九回分)	水町 新三君
金五円(九十、九十一回分)	白鳥保五郎君
金八円三拾銭(自六十二至六十三回分)	下村善重郎君
金貳円(九十六、七回分)	島田 鐵吉君
金貳円五拾銭(六十三回分)	島村他三郎君
金五円(八十、八十一回分)	篠原 泰助君
金五円(五十二、三回分)	平井彦三郎君
金五円(五十二回分)	平尾縫太郎君
金四円(三十一、二回分)	森 龜雄君
金参百円(三十回分)	森本邦治郎君
金参円(自三十一至三十三回分)	森田愛次郎君
金五円(二回分)	菅藤 孟君
金貳円(二十七、八回分)	杉 程次郎君
	以下次号